東議員（民主県政会）

平成 28 年２月 29 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）新たな学校を設置する理由について（関連質問）

十分理解できない点として，答弁のあった広島県立広島中学校・高等学校現在が取組んでいるスーパーグローバルハイスクール指定だけでは何が足りないと考えているのか。

言い換えれば何が必要でＧＬ育成校をしようとしているのか，併せて，これまでの調査検討において，既に取組んでいる学校，未利用の施設活用など既設の施設の利活用の検討を行ったのか，既設のものを活用できれば，県民負担を軽減することにもつながることは言うまでもない。

この点について，教育長に伺う。

（答）

グローバルリーダー育成校は，「多様性の拡大」これをメインコンセプトとしております。

・　多数の外国人留学生を受け入れた，全寮制という学習環境
・　国際バカロレア・ディプロマプログラム
・　国際機関と連携したプロジェクト学習

というこの３点を主な特色とする学校でございます。

この学校では，「国内の難関大学への合格」を目的としたような，これまでの「知識ベースの教育観」に基づいたエリート教育を行うというものではなく，学びの変革を先導的に実践することとしております。

そのためには，単に授業の一部を工夫したり，総合学習や課外活動で体験学習を実施したりということだけでは不十分であり，育成すべき資質・能力を基軸に，プロジェクト学習を核としたカリキュラムを開発し，それに合わせた指導方法・評価方法を設定するという大規模な取組が必要になると考えております。

グローバルリーダー育成校では，このような取組について，今後予定されている学習指導要領改訂の方向性を先取りをし，世界における先端的な研究・実践も多く取り入れるなど，現在の枠組みに留まることなく，「学びの変革」が目指す理想的な姿を追求し，実践してまいります。

また，既存施設の利活用につきましては，これまで，廃校施設などを中心に検討を行ってまいりましたが，

・　そもそもこの学校の条件である「５万平米以上の敷地面積」を有するところがないということに加えまして，
・　多くの施設は老朽化が進んでおり，また，耐震性もないことから，改築・改修に多大な経費を要し，新築と比べても，さほどのコストダウンが見込まれないこと

などの観点から，利活用は困難であると判断したところでございます。